

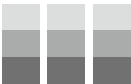

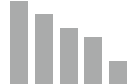
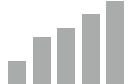
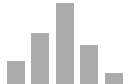





グラフの基本

※本誌P.34「図解とグラフをうまく使えば『説明不要の資料』ができる」(松上純一郎)より抜粋。

まずは押さえておきたい「グラフの基本」

	構成要素比較	項目比較	時系列比較	頻度分布比較	相関比較
積み上げ					
横棒					
縦棒					
折れ線					
散布図					

出所：『マッキンゼー流図解の技術』(ジーン・ゼラズニー著／東洋経済新報社)に著者が加筆

1 構成要素比較

1つのデータの内訳を比較する

例 業界における市場シェアの比較、ある企業の売上げのうち海外事業と国内事業の比較

2 項目比較

互いに独立したデータを比較する

例 アンケート結果の比較、競合他社の売上げの比較

3 時系列比較

古いデータから順番に並べる

例 ある期間の自社の売上げの推移、自社と競合他社の純利益率推移

4 頻度分布比較

データの出現頻度を比較する

例 小売店で客が集中する時間帯をあぶり出す、営業一人あたりの月間売上分布を示す

5 相関比較

2つのデータの相関関係の有無を明確にする

例 売上高と営業利益率の相関関係、営業にかかる時間と成約率の相関関係